

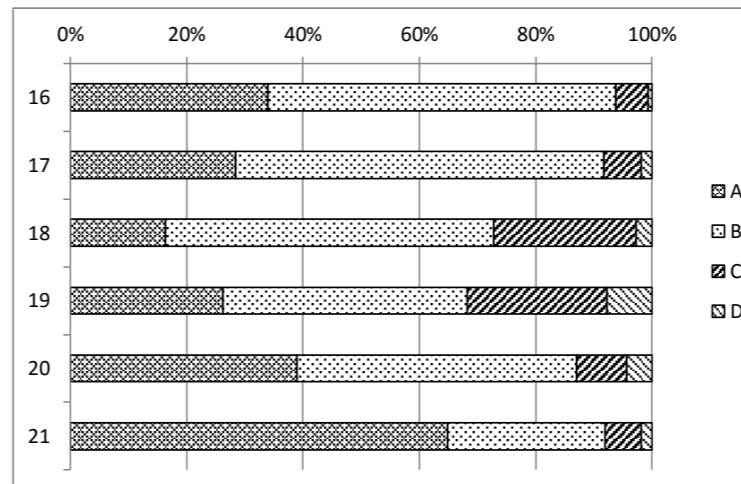
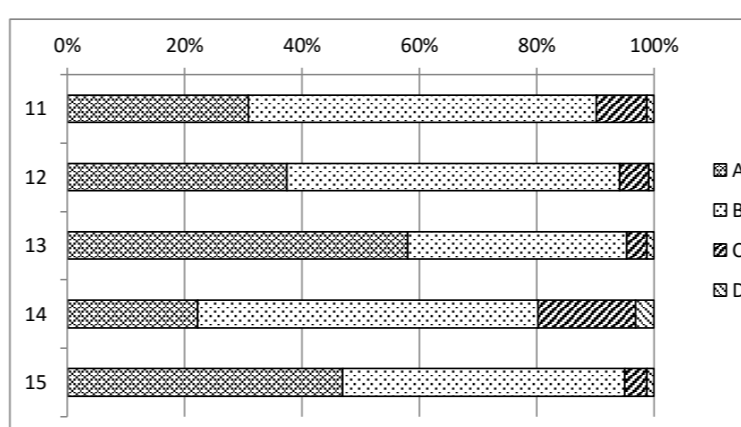
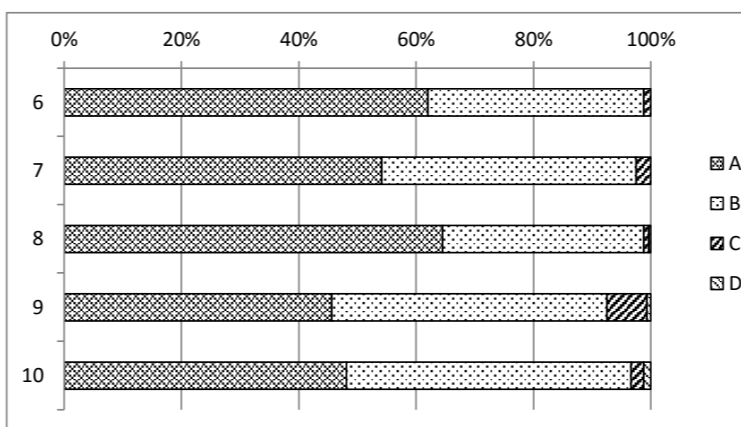
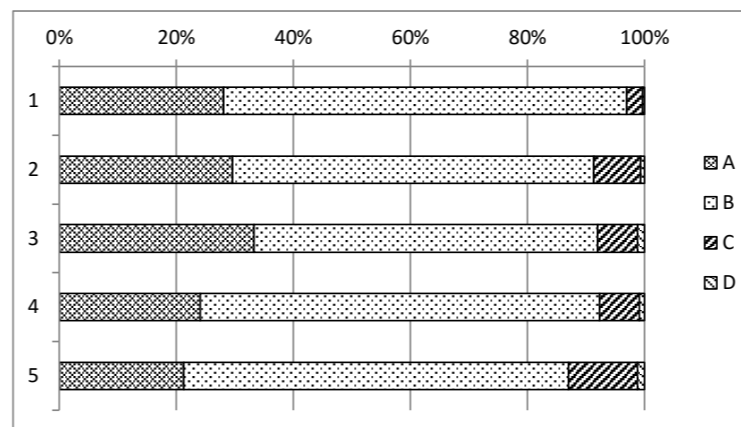
令和元年度 「よりよい学校づくりアンケート」 学校評価アンケート結果(保護者アンケート) 回答者数:324名

		A	B	C	D	合計
1	学校は、教育目標や方針、活動をわかりやすく伝えている。	91	223	9	1	324
		28.1%	68.8%	2.8%	0.3%	100.0%
2	学校は、様々な行事や体験を通じて、児童の「生きる力」を伸ばそうと努力している。	96	200	26	2	324
		29.6%	61.7%	8.0%	0.6%	100.0%
3	学校は、施設・設備の安全管理や校舎内外の美化等、教育環境の整備に努めている。	108	190	22	4	324
		33.3%	58.6%	6.8%	1.2%	100.0%
4	学校は、保護者や地域の期待に応える教育活動を行おうと努めている。	78	221	22	3	324
		24.1%	68.2%	6.8%	0.9%	100.0%
5	学校は、いじめのない学校づくりに努めている。	69	213	38	4	324
		21.3%	65.7%	11.7%	1.2%	100.0%

6	学校は、保護者や地域の方々に学習や行事を参観する場を設けている。	201	119	4	0	324
		62.0%	36.7%	1.2%	0.0%	100.0%
7	学校は、学校だより等で家庭や地域へ、情報を積極的に提供している。	175	140	8	0	323
		54.2%	43.3%	2.5%	0.0%	100.0%
8	学校は、栄養のバランスや食の安全に配慮して、給食を提供するなど、健康の保持増進を図っている。	209	111	3	1	324
		64.5%	34.3%	0.9%	0.3%	100.0%
9	学校は、読書活動を充実しようと努めている。	148	152	22	2	324
		45.7%	46.9%	6.8%	0.6%	100.0%
10	教職員は、来校者や電話に対して親切でいねいに対応している。	156	157	7	4	324
		48.1%	48.5%	2.2%	1.2%	100.0%

11	教員は、子どもをよく理解し、相談・支援・指導を適切に行っている。	100	192	28	4	324
		30.9%	59.3%	8.6%	1.2%	100.0%
12	教員は、熱心に授業に取り組み、適切に評価している。	121	183	16	3	323
		37.5%	56.7%	5.0%	0.9%	100.0%
13	子どもは、学校に楽しく通っている。	188	121	11	4	324
		58.0%	37.3%	3.4%	1.2%	100.0%
14	子どもは、学習内容をよく理解している。	72	188	54	10	324
		22.2%	58.0%	16.7%	3.1%	100.0%
15	子どもは、学校行事や学習活動に積極的に参加している。	152	156	12	4	324
		46.9%	48.1%	3.7%	1.2%	100.0%

16	子どもは、思いやりの心を持って人に接している。	110	194	18	2	324
		34.0%	59.9%	5.6%	0.6%	100.0%
17	子どもは、公共の場でのマナーが守れている。	92	205	21	6	324
		28.4%	63.3%	6.5%	1.9%	100.0%
18	子どもは、挨拶・時間を守ること・正しい言葉遣いができている。	53	183	79	9	324
		16.4%	56.5%	24.4%	2.8%	100.0%
19	子どもは、自分から宿題や家庭学習を行っている。	85	136	78	25	324
		26.2%	42.0%	24.1%	7.7%	100.0%
20	夜間休日の自動音声電話対応の導入によって、緊急時連絡が市役所への電話となったが、それについて困ったことはない。	126	155	28	14	323
		39.0%	48.0%	8.7%	4.3%	100.0%
21	今年度、家庭訪問を家庭確認に代え、教育相談としたが、不都合は生じなかった。	210	88	20	6	324
		64.8%	27.2%	6.2%	1.9%	100.0%



・学校経営の中で、高く評価している点は、以下の4点である。
(A評価が半数を超え、且つ95%以上肯定的なもの)
①問6 保護者や地域の方々への学習や行事の公開
②問7 学校だより等での保護者や地域への情報発信
③問8 学校給食及び健康の保持増進
④問13 子どもの学校生活の充実

・学校経営の中で、さらに努力が必要であると感じている点は、以下の3点である。
①問2 学校行事や体験を通して「生きる力」の育成
②問5 いじめのない学校づくり
③問11 子どもへの相談・支援・指導

今年度は、問7「学校は、学校だより等で家庭や地域へ、情報を積極的に提供している。」が上記の「高く評価している点」に新たに含まれた。これは、AとBを含めた「肯定的な評価」は昨年度より微増であったが、A評価が半数を超えて大きく増加したためである。今後も保護者や地域の方々や学校教育目標を共有し、協働して子どもたちを育ていけるよう学校だより・ホームページ・連絡メール等で積極的な情報発信に努めていきたい。

問5「いじめのない学校づくり」と問11「子供理解、相談・支援・指導」の項目では、昨年度よりA評価が増加し、「肯定的な評価」もそれぞれ増加している。教職員が、年々対応する事案が増加する中で、その都度丁寧な対応を心掛けてきたことによるものと思われる。しかし、今後はさらに、CとD評価を含めた「否定的な評価」にも目を向け、対応の質の向上を図らなければならないと考える。担任一人ではなく、学校全体でそれぞれのケースにあった的確な対応のあり方を模索し、より良い対応を目指していきたい。また、子ども同士のトラブルと思われる事案は今後もあると考えられる。予防につながるような取り組みを積極的に行っていく必要がある。そのための手立ての一つとして「教育相談週間」が子どもにとっても保護者にとっても有効に活用できるように充実を図っていきたい。インターネット(含むスマートフォン)を介したトラブルも発生しているため、使い方の指導も継続して行っていく。

問2に関して、昨年度と比較してA評価は増加したものの、「肯定的な評価」は、ごくわずかではあるが減少している。様々な学校行事や体験活動が「前年踏襲」や「今まで続いてきたから」ではいけないことを示唆している。「何のために、子どもたちにどんな資質・能力をつけさせたいのか」を明確にした学校行事や体験活動でなければならないと考える。子どもたちの「生きる力」を伸ばすための学校行事や体験活動という視点で見直しを図っていきたい。

・保護者が感じている子どもの課題は、以下の3点である。
①問14 学習内容の理解
②問18 挨拶・時間を守る・正しい言葉遣い
③問19 自主的な宿題や家庭学習への取り組み

本校の1番の課題は、子どもたちに学習習慣を定着させることである。家庭学習のために課題を出しても、提出しない児童は少なくない。根気強く指導を続けているが、それによって学習への意欲が低下してしまう児童もいる。問19「子どもは、自分から宿題や家庭学習を行っている。」は「肯定的な評価」が向上し、根気強い指導が成果を上げてはいるが、「否定的な評価」もまだ他の項目に比べると多くある。引き続き、家庭と協力して家庭学習の定着に努めていきたい。

問14「子どもは、学習内容をよく理解している。」は、ほぼ昨年度と変わらない。今年度は昨年度に引き続き、全校をあげて「書くこと」に重点をおき、「書く意欲」を向上させるための取り組みを行ってきた。児童のノートからは書く力の成長が見られ、授業アンケートからも児童の書く意欲が向上していることがわかる。さらに、今年度は、新たに国語科で付けた力を全教科で活用することを校内研究として全職員で取り組んできた。また、全国学力・学習状況調査及び我孫子市標準学力調査において、多くの学年が昨年度を上回る結果となっている。子どもたちの学力が伸びているというこれらのことが外部評価につながるよう、成果をわかりやすく発信する工夫を行っていきたい。

問18「子どもは、挨拶・時間を守ること・正しい言葉遣いができている。」については、A評価について昨年度よりも向上している。しかし、「否定的な評価」も、まだ約27%ある。今後も、根気強く子どもを取り巻く学校・家庭・地域が協力してより良く子どもたちを育てていく必要がある。

問21「家庭確認」に関して、今年度から従来の「家庭訪問」を「家庭確認」に代えて実施したが、92%が肯定的な評価であった。来年度についても、「家庭確認」を実施する予定である。担任に直接伝えたいことがある方は、この期間に面談できるようにしたいと考えている。